

## Ⅰ 学期終業式の話

今日は、Ⅰ学期の「終業式」・・・、終業式とは、毎学期の授業を終えたときに行う式のことです。

Ⅰ学期の登校日(学校に来た日)は、73日(1年生は72日)でした。この間、一人一人がたくさん体験を通して、心も体も大きく成長できた一学期だったと思います。

校長先生は、Ⅰ学期の始業式の時に、「こんな子供になってほしい」ということで、「元気」「本気」「笑顔いっぱい大森っ子」の話をしました。

具体的には、『元気な子どもの姿』として、「いっぱい遊ぶ子ども」「友だちとかかわる子ども」「あいさつがしっかりできる子ども」の話をしました。

特に、あいさつは、人と人との「心をつなぐ」大切な方法です。ぜひ、頑張ってもらいとお話をしたところです。覚えていますか？

そして、『本気な子ども』については、「目の前のことに夢中で取り組むこと」「しっかりした目標」を持って、がんばることの大切さについてお話をしました。

最後に『笑顔いっぱいな子ども』については、「一人ひとりが、自分がしてもらってうれしいことを、周りの人にもしてあげること」が大切だという話もしました。

皆さん、思い出しましたか？ そしてこのⅠ学期を振り返って、どうでしたか？

できたと思う人は「これからも自信を持って続けてください」、できなかったという  
人は「2学期のめあてとして、またがんばってほしい」と思います。

たくさんの思い出ができた1学期!

目標を持って勉強や運動に、よくがんばった全校生725名に「心も頑張ったね」の拍手を贈ります。ご苦労様でした。

そして、いよいよ明日からは「夏休み」です。

ここで夏休み「約束してほしいこと」について、2つお話します。

約束の一つ目は、心もウキウキの夏休みだからこそ「安全な生活をしてほしい」ということです。「車・火・水・心(お金)・人」に注意して、楽しい夏休みにしてください。

二つ目は、「夏休みにしかできない自慢できる活動」をしてほしいと思います。

「〇〇に遊びに行った」などの自慢ではなく、「自分が、〇〇をがんばったんだよ」と自慢できる活動に、たくさん挑戦してほしいと思っています。

先生との「夏休みの2つの約束」・・・、「安全に生活しよう」「夏休みにしかできない自慢できる活動をしよう」・・・、ぜひ考えながら、素敵な夏休みを過ごしてほしいと思います。

そして、たくさんの夏休みの思い出話しを持って、8月20日の2学期始業式には、笑顔いっぱいの真っ黒に日焼けした皆さんに会えることを楽しみにしています。

それでは皆さん、「すてきな夏休みを」お過ごしください。